

SAMPLE

特集レポート No. 007

# 食品スーパーの生き残り戦略

*Strictly Confidential*

 Info Mart Corporation

2017年 6月28日

## はじめに

---

- 食品スーパー業界では、仕入れの効率化などのスケールメリットを求め、M&Aや業務提携などによりイオンやセブン&アイホールディングスをはじめとした大手全国系スーパーへの集約が進んでいる
- 従来は取扱商品・サービスの標準化を進めてチェーン規模を拡大してきた大手チェーンスーパーと、地域に根差した地場スーパーとは棲み分けがなされていたが、近年は大手においてもローカライズが進み、地場スーパーは窮地に立たされている
- 本レポートでは、こうした厳しい環境下においても、他社との差別化に成功し業績を伸ばしている地場スーパーの事例を紹介することで食品スーパーの生き残りの方向性について考察する

# 本資料の流れ

---



## I. 食品スーパー業界の概要

## II. 好調地場スーパーの事例紹介

1. 新鮮市場きむら
2. エブリイ
3. フードストアあおき
4. スーパーサンシ
5. ヤオコー

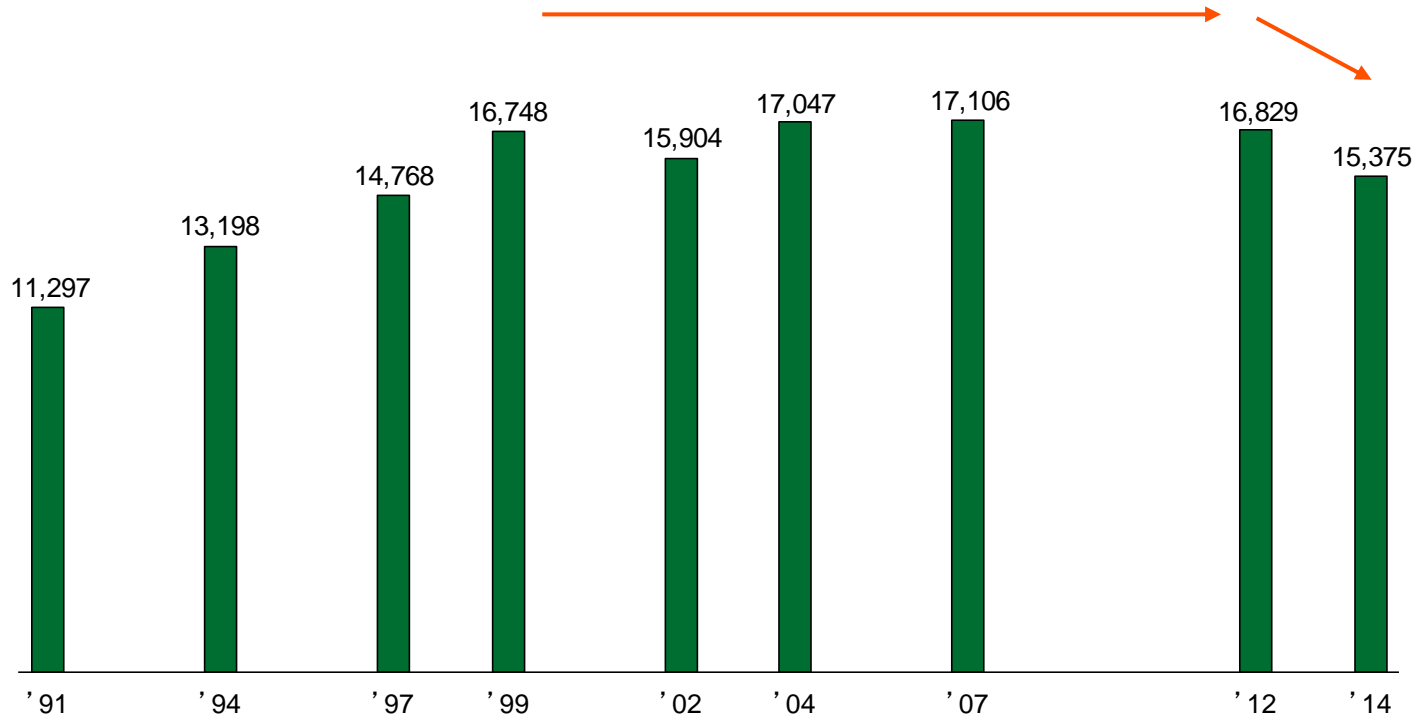
## III. 地場スーパーの生き残り戦略

# 食品スーパーの市場規模推移

- 食料品スーパーの年間商品販売額は2000年代に入ってから頭打ちとなっており、直近では減少している

## 食料品スーパー\*1の年間商品販売額の推移

(単位: 十億円)



注: \*1. 食品の売上構成比が70%以上、売場面積が250㎡以上の小売店

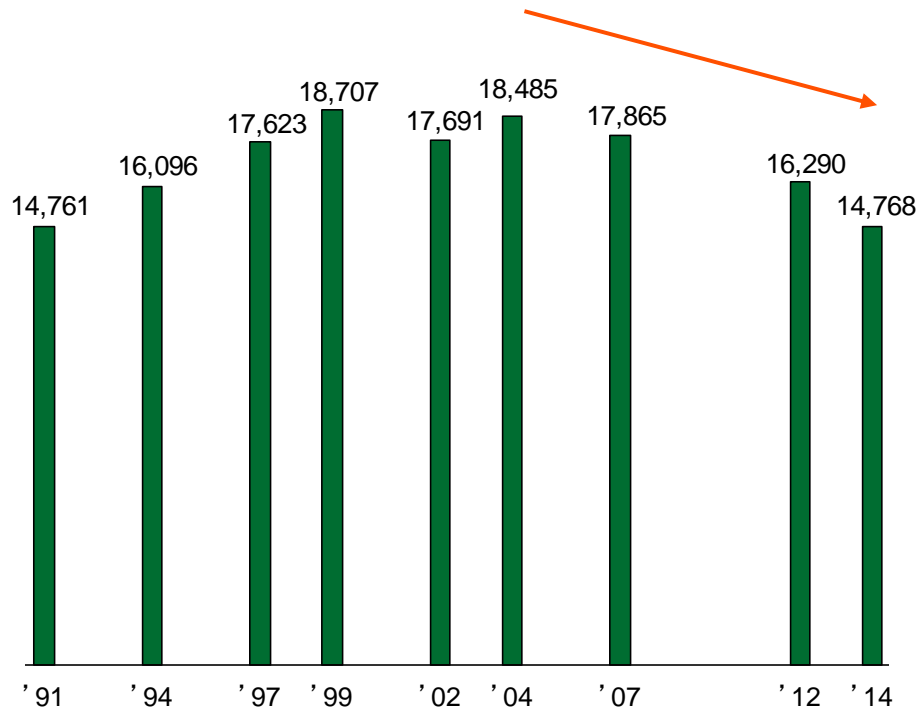
出所: 経済産業省「商業統計」

# 食品スーパーの事業所数と売場面積

- 食料品スーパーの事業所数が減少している一方で、売り場面積は拡大しており、店舗の大型化が進んだ

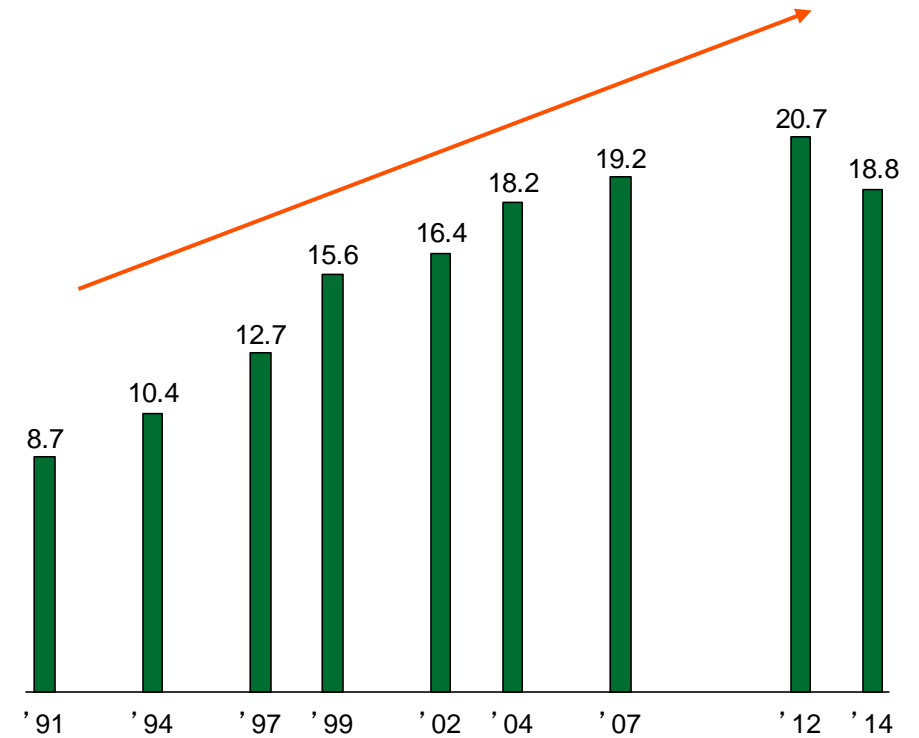
## 食料品スーパーの事業所数の推移

(単位: 事業所)



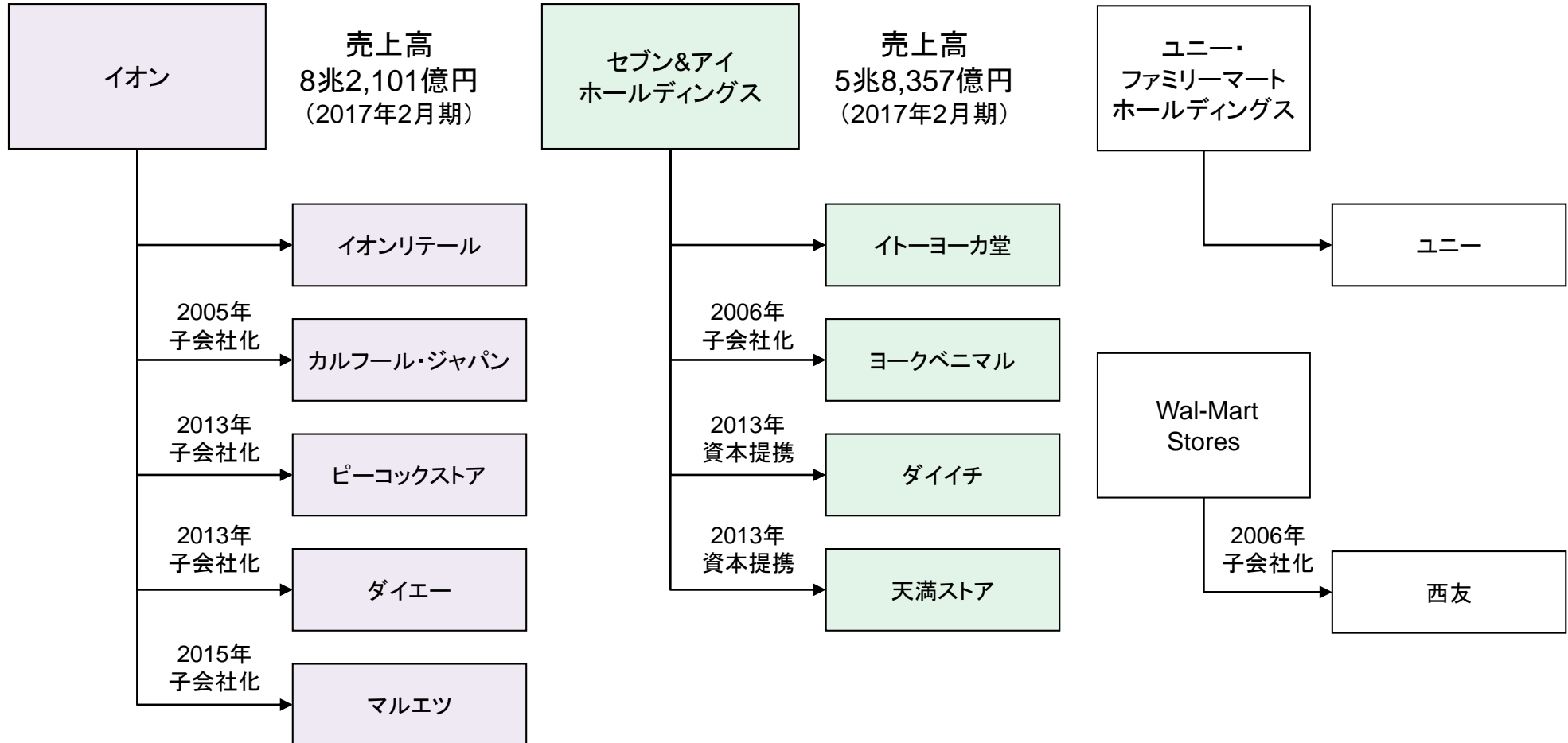
## 食料品スーパーの売場面積合計の推移

(単位: 百万㎡)



# スーパー業界の主な再編動向

- イオンやセブン&アイなどを中心とした大手スーパーによる買収が相次ぎ、集約化が進んでいる



## SAMPLE版はここまでです。

続きは、業界チャンネル 特集レポート にてご覧ください。

特集レポート一覧はこちら ▶

“業界チャンネル 特集レポート”とは、

経営コンサルタントの目線で特に伸びているビジネスに注目して分析。  
その成功の鍵や今後に言及し、「打ち手」を導出します。

